



西東京の教育

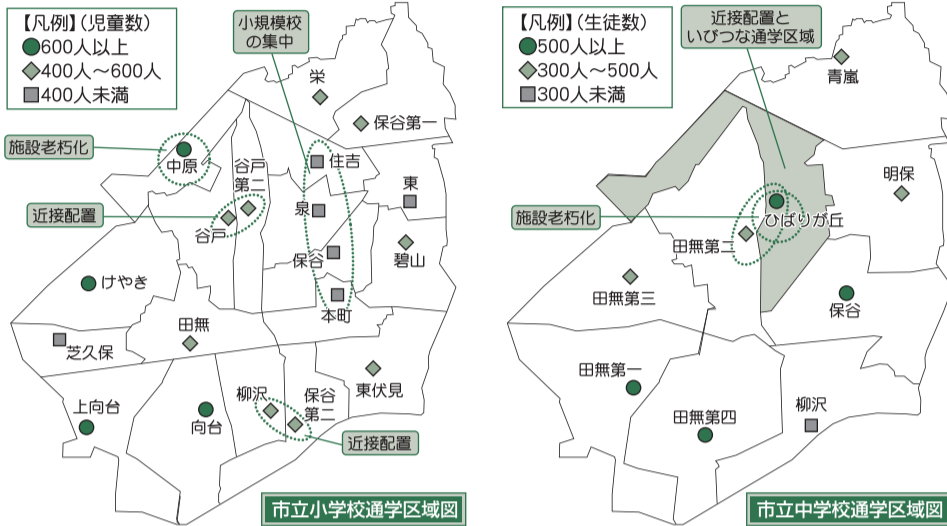
＝発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311

＝編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成24年(2012年)5月15日発行 第53号

【西東京市立学校の配置状況と現状の主な課題】



- 施設老朽化 (中原小学校とひばりが丘中学校)
- 小規模校の集中 (住吉小学校・泉小学校・保谷小学校・本町小学校)
- 学校近接 (谷戸小学校と谷戸第二小学校・保谷第二小学校と柳沢小学校・田無第二中学校とひばりが丘中学校)
- いびつな形の通学区域 (ひばりが丘中学校)

【中原小学校・ひばりが丘中学校の建替プラン】

※UR跡地…都市再生機構(以下「UR」という。)のひばりが丘団地の一部売却が予定されている土地を市が購入することを予定しています。

①:中原小学校・ひばりが丘中学校の両校を建替えるためにURの土地を購入



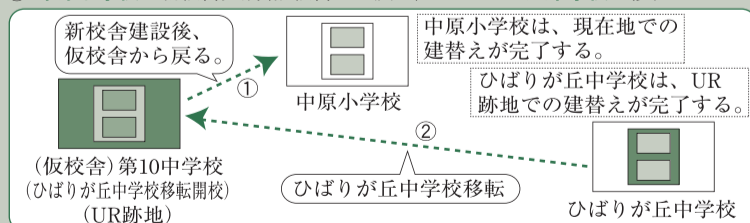
②:URから購入した土地に新校舎(仮称)第10中学校を建設



③:UR跡地に建設された新校舎の中原小学校仮校舎利用と中原小学校の現地建替



④:中原小学校の新校舎完成(仮校舎から戻る)とひばりが丘中学校の移転



⑤:旧ひばりが丘中学校(旧校舎)の取壊し、跡地の活用又は処分



【図1】

【図2】

学校施設適正規模・適正配置 庁内検討委員会

より良い教育環境を目指して 中原小学校とひばりが丘中学校の建替えの方向性をまとめました

「学校施設適正規模・適正配置」とは、各学校の「児童・生徒数」や「学級数」、また、各学校間の「地形的な配置バランス」等を総合的に考慮した上で、市内の各学校を適正な規模、適正な配置にすることで、西東京市に学ぶすべての子どもたちにとって、より良い教育環境を実現することを旨とするものです。

現在の西東京市の各学校の状況を見てみると、少子化等の影響により児童・生徒数が減少し、1クラス編成となる学年が生じ

ている学校がある一方で、大規模な敷地を有する工場の移転等に伴い、その跡地への大型マンションの建設や宅地開発等が行われ、市内の特定の地域においては、児童・生徒数の急激な増加が見られます。その結果、教室数が不足すると見込まれる学校もあるなど、地域により児童・生徒の偏在が著しい状況となっております。

こうした状況を改善するとともに、施設の老朽化が進む学校の建替えや改修についても、併せて検討を行う目的で、平成23年度から教育委員会のみならず、市長部局の関係部課長も含めた庁内横断的な委員構成による

「学校施設適正規模・適正配置」に関する庁内検討委員会(以下「庁内検討委員会」という。)を設置し、検討を進めてきました。この度、平成23年度における庁内検討委員会の検討結果最終報告書を作成しましたので、その概要をお知らせします。

▲最終報告書の概要▼

西東京市立学校の現状の主な課題は、【図1】のとおりです。これらの課題について、平成23年度は、これまで特に懸案となっていた「中原小学校」と「ひばりが丘中学校」の学校施設老朽化に伴う建替えや小規模化が進行する学校の統廃合等について、より具体的で、多角的な視点からの検討を進めてきました。その結果、「中原小学校」と「ひばりが丘中学校」の学校施設老朽化に伴う建替えについて庁内検討委員会としては、

【図2】に示す建替プランで「中原小学校」と「ひばりが丘中学校」の学校施設建替事業を推進し、両校の既存校舎の建築年から60年となる平成31年から平成32年頃を目途に事業完了を目指していくことが、現在の状況における唯一、かつ、最良の方法であると考えました。

また、この建替プランによる効果としては、建替期間中も現在の校舎をそのまま利用できること、建替工事に伴う騒音や学校施設の利用制限による児童・生徒等への負担が生じないこと、「ひばりが丘中学校」が移転することで「田無第二中学校」との近接の問題が解消できること、「ひばりが丘中学校」の移転に伴い、新たな通学区域を設定すること、いびつな形状をしている通学区域の問題が解消できるといったことが挙げられます。

建替準備検討協議会

◆教育企画課
042(438)4070

教育委員会では、今後の建替えまでの既存施設の利用等についても、現状の課題等を十分に整理し、安全面等を最大限考慮した上で、児童・生徒はもとより、保護者や学校関係者、地域住民の方にとっても、より良い学校であり続けるよう適切な管理・運営に努めてまいります。

また、小規模化が進行する学校の統廃合等については、平成23年度に、児童・生徒数の将来推計調査を実施しましたので、その結果を踏まえ、平成24年度に更なる検証を加え、方向性をまとめていく予定です。

その他詳細は、市役所両庁舎情報公開コーナー、市ホームページで公開中の最終報告書をご覧ください。

なお、建替準備検討協議会の会議は傍聴していただくことが可能です。詳細は、会議開催前に市ホームページや市報などでご案内します。